

栄区地域子育て支援拠点事業
令和3年度重点目標評価結果・令和4年度重点目標

事業実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日(3年度目／5か年度)
事業の実施者	社会福祉法人地域サポート虹 栄区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 〇〇区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和3年度重点目標の評価

令和3年度重点目標①	妊娠期から出産まで切れ目のない支援ができるよう区と拠点が連携して取り組みます。
取組内容	●区と協力して妊娠中の方とその家族が参加できるプログラムを定期的に行い、出産前から拠点に来館し産後も継続して利用や相談ができるような工夫をする。

取組の成果	<p>①妊娠期の夫婦を対象にWelcome!プレママプレパパDayを開催した。 [内容]沐浴・着替え・妊婦体験、先輩ママパパからの体験談と交流 昨年度より回数を増やし7回実施。産後の生活が具体的にイメージできるよう、実際に赤ちゃんを抱っこしたり、先輩ママパパから体験談を聞き交流する機会を設けた。ネットでは知ることのできない生きた情報にふれ、産後の生活に対する不安を軽減することにつながった。また夫婦で子育てに対する考えや協力体制等を考えるきっかけとなった。本プログラム参加者が産後は先輩ママパパとして体験談やアドバイスを行う役割を担っている。</p> <p>②区主催の両親教室で拠点の周知・先輩ママパパの体験談、拠点見学ツアーの実施 拠点利用者に先輩ママパパとして拠点での様子を交えて話してもらうことで、拠点のイメージが抱きやすくなった。両親教室終了後には希望者を拠点に案内し、乳幼児の様子を見てもらい、拠点の雰囲気を感じてもらうことで、妊娠期のプログラム参加や出産後安心して来館してもらうことができた。また、地域情報を提供することで産後の生活の見通しをもつ機会ともなった。</p> <p>③Welcome!プレママプレパパDay参加者を対象にオンラインでのおしゃべり会を開催した。 (プレママハッピータイム) 継続的に拠点とつながりがもてる一歩として、当事者同士交流できる場として企画。 Welcome!プレママプレパパDayでは話すことのできなかつた出産や産後の生活への不安や思いを傾聴した。産後の生活の過ごし方についてアドバイス等を行い不安軽減につなげた。</p> <p>④母子保健コーディネーターと連携し、妊娠期から拠点が利用できることの周知を行った。 母子保健コーディネーターが母子手帳配布時に、拠点の説明や妊娠期から来館できることを周知し、Welcome!プレママプレパパDayの案内を送付することで、妊娠期のプログラム参加や拠点への来館等につながった。</p>
取組の課題	<p>①コロナ禍で様々な場所で体験型の両親教室が中止となり、参加希望者が多く予約開始直後に定員に達することも多かった為、参加人数や実施回数の検討が必要。</p> <p>②妊娠期から拠点が利用できることを、より広く周知するため、周知方法や周知場所を検討していく。</p>

令和3年度 重点目標②	拠点の機能を活かし、地域の子育て支援機関や団体との連携を深め、栄区の子育て支援力の向上に努めます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●区内の子育て支援機関やサロンに出向き、地域の子育て支援関係者とニーズや情報を共有し、課題に沿った支援を行う。 ●拠点から距離のある地域の公園に出向き、遊びを提供することで地域のニーズや情報を収集し、支援に活かせるよう努める。
取組の成果	<p>①コロナ禍でサロンの活動に制限があり、今年度は出向くことが少なかったが、育児教室や親と子のつどいのひろばに出向き、拠点に来館したことのない親子と出会うことができた。各地域の支援者と情報交換を行い、各地域の状況把握に努めた。</p> <p>②コロナ禍で室内遊びに不安を抱く養育者が多くいた為、外遊び「公園であそぼ！！」を実施した。 拠点への来館を控えている親子と拠点以外の場所で行うことができ、コロナ禍での育児に対する不安や思いを知ることができた。また拠点から離れた地域で来館がしづらい親子とも出会う機会となった。 普段公園には子どもたちが少なく、同年齢の子どもと遊ぶ機会がもてないという声が多かった。「公園であそぼ！！」を実施することで、同年齢の子どもたちが出会い共に遊ぶ機会をもつことができ、公園に行ったことのない親子の公園デビューのきっかけともなった。</p> <p>③子育て支援団体連絡会を開催し、団体同士情報交換や交流を行い、コロナ禍で中止していた団体の活動再開に向けてのヒントを得る機会となった。また次年度に向けて、互いを知る為に見学会を開きたいと団体同士前向きな意見交換ができた。</p>

取組の課題	<p>①コロナ禍で出向くことのできなかつた子育て支援機関やサロンに足を運び、各地域の情報収集に努め子育て支援の向上に生かしていく。</p> <p>②各地域のサロンや子育て支援者と共に外遊びのプログラムを行い、各地域の子育て支援機関や団体の周知を行うと共に親子の参加につなげていく。</p>
-------	--

次年度重点目標

令和4年度 重点目標①	妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援ができるよう区と拠点が連携して取り組みます。
取組内容	引き続き、区と協力して妊娠期から継続的に利用できる取り組みを行う。妊娠期からの仲間づくりや拠点との関係性を深めることで、育児不安の軽減につなげる。
令和4年度 重点目標②	拠点の機能を活かし、地域の子育て支援機関や団体との連携を深め、栄区の子育て支援力の向上に努めます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●区内の子育て支援機関やサロン等に出向いて収集した養育者のニーズを共有することで地域やサロンにあった支援方法の検討を行う。 ●必要に応じ、近隣のサロン等の関係機関と共に地域の公園に出向いて外遊びを提供することで拠点に来館が難しい養育者とのつながりを持つ。 ●拠点内外で収集した情報を子育て支援団体連絡会で共有することで、連携意識を高め、更なる協力体制の強化を図る。